

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2016年度第4回(通算第41回)理事会 議事録

1. 開催日時：2017(平成29)年3月19日(日) 11:00～14:41(昼休憩 12:47～13:26)
2. 場 所：「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室(横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88)
3. 審議事項および資料
 - 第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
 - 第2号議案(専権等の報告) 2016年度第4回業務執行報告(事業系)
 - 第3号議案(専権等の報告) 2016年度第4回業務執行報告(総務系)
 - 第4号議案(専権等の報告) 合同統括会議報告
 - 第5号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
 - 第6号議案(専権等の報告) 第5回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城の開催について
 - 第7号議案(専権等の報告) 関西支部セミナー開催
 - 第8号議案(専権等の報告) 強化段ボールを用いた仮設住宅用生活家具の製作ワークショップ
【第3回】報告
 - 第9号議案(専権等の報告) 選挙管理委員会業務遂行経費の「仮払い」に関する専権報告
 - 第10号議案(専権等の報告) 次期編集委員の選出について
 - 第11号議案(決議) 新入会者の承認について
 - 第12号議案(決議) 役員候補者選出の理事会推薦役員候補者について
 - 第13号議案(決議) 第32回リハ工学カンファレンス in 神戸演題募集期間延長の承認
 - 第14号議案(決議) 支部の各規定整備(継続)
 - 第15号議案(決議) 福祉機器コンテスト2016 事業報告と決算報告について
 - 第16号議案(決議) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)への加入について
 - 第17号議案(決議) 情報保障の推進について
4. 理事総数 14名
出席理事数 11名→12名(第7号議案以降)

会長(代表理事)	繁成剛
理事	石濱裕規、岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、剣持悟、杉本昌子、高原光恵、 中村俊哉、水澤二郎、山形茂生、吉田泰三
監事	相川孝訓、赤澤康史
事務局	深野栄子
欠席理事	畠中規、宮野秀樹

※岩崎理事(第7号議案より出席)
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
 - (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の杉本昌子と高原光恵の2名を選出した。

第1号議案（専権等の報告）新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について

事務局担当の沖川理事より、2016年度第3回（通算第40回）理事会以降に専権事項とした12月11日～12月28日、12月29日～1月25日、1月26日～2月28日の計7名（2016年度下半期正会員5名、学生会員2名）の入会が報告され追認で承認された。

承認10、非承認0（会長除く）

第2号議案（専権等の報告）2016年度第4回業務執行報告（事業系）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（2016年12月11日～2017年3月18日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当

- ・ 第32回リハ工学カンファレンスの開催準備：運営事務局JCSとの打ち合わせ、演題募集開始、セミナー等での広報活動、実行委員会の開催等
- ・ 第31回リハ工学カンファレンス in こうち：後援・協賛団体へ報告書送付
- ・ 第33回リハ工学カンファレンス開催準備：大会長印作成、会期決定（2018年8月29日（水）～31日（金））

■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト2016結果報告書の作成（協会誌Vol.32 No.1に掲載）
- ・ 有限会社車座と2017年度コンテスト事務局業務委託契約を締結
- ・ 特別協賛企業フランスベット訪問

■ 協会誌担当

- ・ 協会誌発刊：vol.32 No.1「センサとリハ工学」発刊。vol.32 No.2、vol.32 No.3の発刊準備。
- ・ 電子会議の検討：技術的環境整備中であり未実施。今後年2回の電子会議を目標として運営見直しを進める。
- ・ 次期編集委員の募集（協会誌Vol.32 No.1に掲載、現在候補者2名）
- ・ 投稿論文：2016年度新規投稿3件（うち1件受理）
- ・ 2017年度掲載希望でJ-STAGEサービス利用申込（申込業務休止中のため登録遅延の可能性大）、バックナンバーの目次整理更新

■ 分科会・委員会担当

- ・ 支部活動支援：関西支部セミナー（2/18実施）への対応
- ・ 復興支援講習会に係る調整：5/13～14@仙台市戦災復興記念館
- ・ 災害対策委員会の活動：3/4・5に益城町で仮設住宅支援として第3回強化段ボールを用いた仮設住宅用家具製作のワークショップを開催

■ 企画担当

- ・ バリアフリー2017出展に関する調整：4/22（土）重度障害者のスポーツ・レジャーに関する出展社ワークショップ実施（講師：宮野・松田・沖川）
- ・ 第6回合同シンポジウム開催準備・広報：3/25@福岡県中小企業振興センター「つながろう！～みんなで考える車椅子ユーザーの住まいづくり～」

■ 国際担当

- ・ メールによる予算案調整

■ 事業統括

- ・ 展示会出展調整：新潟福祉機器展対応、HCR2017出展申込。
- ・ 3/18調整会議および事業計画・予算要求に関する調整

第3号議案（専権等の報告）2016年度第4回業務執行報告（総務系）

総務統括担当の水澤理事より、各業務執行理事の業務執行状況（2016年12月11日～2017年3月18日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 選挙管理委員会の業務についての取りまとめを行った。
- ・ 代議員選挙へ向けて選挙管理委員会と業務のすり合わせを行った。
- ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、3/8^付切として業務執行報告書の提出を求めた（2016年12月11日～2017年3月18日分）。
- ・ 選挙管理委員会の必要経費の「仮払い」について専権行使の発行宣言を行い、業務執行を進めた。
- ・ 3/18 調整会議および事業計画・予算要求に関する調整を行った。
- 理事会・総会担当
 - ・ 2016年度第3回（通算第40回）理事会議事録の取りまとめを行った。
 - ・ 2016年度第4回（通算第41回）理事会開催準備を行った。
 - ・ 2017年度事業計画案（素案）の資料取りまとめを行った。
- 財務担当
 - ・ 財務管理体制について財務管理を遂行した。
 - ・ 次年度の予算編成について作業を進めた。
- 副会長／事務局担当
 - ・ 決算処理に向け会計必要書類について会計士と調整し、毎月の会計データ書式等改善方法を検討した。
 - ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援4件（継続）、協賛2件（継続）への回答送付
 - ・ 展示会出展における広報活動：HCR2017の出展準備（申込）
 - ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※1月2件、2月3件、3月3件
 - ・ 会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。
 - ・ ホームページリニューアルにあたり広報担当に引き継ぎを行った。
- 広報・渉外担当
 - ・ メールニュース配信（5件）・メールニュース新規会員登録（6件）
 - ・ メールニュース会員登録変更（6件）
 - ・ ホームページリニューアルに向けた打合せを行った。

第4号議案（専権等の報告）合同統括会議報告

総務統括担当の水澤理事より、理事会前日3月18日（土）開催の合同統括会議の報告がされた。

日時：2017年3月18日（土）13:00～16:30

場所：「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室

出席者：沖川副会長、水澤総務統括理事、金井事業統括理事、石濱協会誌担当理事、
 剣持カンファレンス担当理事、高原総会・理事会担当理事、中村企画担当理事、
 山形コンテスト担当理事、吉田財務担当理事、深野事務局長

1. 事業系連絡調整（金井統括担当理事）
 - ・ リハ工学カンファレンスの演題発表について
2. 事業計画（案）ならびにこれに伴う予算（案）の精査
 - ・ 本案件についての今後の進め方を確認及び表記の件についての精査
 - ・ 来年度の事業方針（計画）の骨子について
 - ・ 収入計画、会費督促など財政健全化をめざす件について

第5号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について（報告）

事務局担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼について報告され追認で承認された。

- ・ 2016/12/19 後援 一般社団法人日本作業療法士協会さまより「第51回日本作業療法学会」（2017/9/22～24）
- ・ 2016/12/29 後援 国立障害者リハビリテーションセンターさまより「支援機器利活用拡大シンポジウ

ム 2017」(2017/1/29)

- ・ 2017/01/05 後援 日本チェアスキー協会さまより「障害者スキー普及講習会 第 38 回日本チェアスキー大会」(2017/2/23～26)
 - ・ 2017/01/05 後援 公益社団法人日本理学療法士協会さまより「第 52 回日本理学療法学会大会」(2017/5/12～14)
 - ・ 2017/02/07 協賛 バイオメカニズム学会さまより「第 25 回バイオメカニズム・シンポジウム」(2017/8/4～6)
 - ・ 2017/02/07 協賛 バイオメカニズム学会さまより「第 38 回バイオメカニズム学会学術講演会」(2017/11/4～5)
- 承認 10、非承認 0 (会長除く)

第 6 号議案(専権等の報告) 第 5 回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 宮城の開催について
企画担当の中村理事より、標記の件について主催者として開催することが報告された。

第 5 回復興支援講習会の実施について

開催日程：2017 年 5 月 13 日(土)～14 日(日)

開催場所：戦災復興記念館(宮城県仙台市青葉区)

第 7 号議案(専権等の報告) 関西支部セミナー開催

分科会・委員会担当の岩崎理事より、2017 年 2 月 18 日開催の「電動車椅子での航空利用セミナー」(日本福祉のまちづくり学会関西支部、兵庫頸髄損傷者連絡会との共催)について報告され追認で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

第 8 号議案(専権等の報告) 強化段ボールを用いた仮設住宅用生活家具の製作ワークショップ【第 3 回】報告

分科会・委員会担当の岩崎理事より、平成 28 年熊本地震の災害支援活動を日本リハビリテーション工学協会災害対策委員会(以下、災害対策委員会)主催にて、2017 年 3 月 4 日には木山仮設団地にて、同 3 月 5 日にはテクノ仮設団地にて強化段ボールを使った整理棚(3 段)および小学生向け学習機の製作ワークショップの活動を行い、4 日午後の木山仮設団地では整理棚 30 個、学習机 10 個を、5 日午前のテクノ仮設団地では整理棚 30 個・学習机 10 個、多目的 BOX3 個を、避難者の方々に贈呈し、今回の活動は第 3 回目、公財)日本財団の平成 28 年熊本地震 NPO/ボランティア活動支援事業による助成金により実施されたことが報告され追認で承認された。

第 9 号議案(専権等の報告) 選挙管理委員会業務遂行経費の「仮払い」に関する専権報告

総務統括/規則・選挙担当の水澤理事より、選挙管理委員会の必要経費の「仮払い」について、専権行使の発行宣言を行い業務執行したことが報告され追認で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

第 10 号議案(専権等の報告) 次期編集委員の選出について

協会誌担当の石濱理事より、次期編集委員(任期：2017 年 4 月～2019 年 3 月 新規公募 4 名)を編集委員会による推薦と協会誌などによる公募にて進めており、現時点での公募者 2 名について報告され追認で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

■新規編集委員

徳田 良英 (帝京平成大学健康メディカル学部) 教員・理学療法士

谷口 公友 (株式会社モルテン *4 月以降) 研究員・義肢装具士(再応募継続)

※引き続き、理事・編集委員よりの推薦等に基づき選出中、次回専権報告予定。

■継続編集委員

岡田 裕生 編集委員長(川村義肢)

西村 顕 副編集委員長（査読）（横浜市総合リハビリテーションセンター）
野口 祐子（日本工業大学工学部生活環境デザイン学科 *4月以降） 教員・当事者
鈴木 明子（綱島鈴木整形外科、横浜リハ（非常勤）） リハ医
東畠 弘子（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野） 教員・社会福祉士
榎田 美知子（東京頸髄損傷者連絡会） 看護師・当事者

第11号議案（決議）新入会者の承認について

事務局担当の沖川理事より、2016年度第3回（通算第40回）理事会以降のメーリングリストによる確認及び承認をおこなった者以降、今回の理事会までの入会者7名（2016年度下半期正会員6名、2016年度下半期学生会員1名）の入会について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0（会長除く）

第12号議案（決議）役員候補者選出の理事会推薦役員候補者について

総務統括/規則・選挙担当の水澤理事より、役員任期・改選にともない、理事会として円滑な業務を遂行するために、理事会推薦役員候補者の選定を行ないたく、以下の理事9名、監事2名を理事会推薦としたいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

<理事>

- ・沖川 悦三（現在6年）現副会長・事務局担当
- ・金井 謙介（現在6年）現事業統括担当
- ・剣持 悟（現在4年）現カンファレンス担当
- ・水澤 二郎（現在4年）現総務統括/規則・選挙担当
- ・山形 茂生（現在4年）現コンテスト担当
- ・石濱 裕規（現在2年）現協会誌担当
- ・杉本 昌子（現在2年）現広報・渉外担当
- ・中村 俊哉（現在2年）現企画担当
- ・吉田 泰三（現在2年）現財務担当

<監事>

- ・赤澤 康史（兵庫県立福祉のまちづくり研究所）
- ・相川 孝訓（国立障害者リハビリテーションセンター）

承認11、非承認0（会長除く）

第13号議案（決議）第32回リハ工学カンファレンス in 神戸演題募集期間延長の承認

カンファレンス担当の宮野理事、剣持理事より、第32回リハ工学カンファレンス in 神戸の演題申込数が締切2週間前の時点で11演題と少なめであるため演題登録期間の延長をしたいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0（会長除く）

第14号議案（決議）支部の各規定整備（継続）

分科会・委員会担当の岩崎理事より、第1回理事会（2016.7.24）での継続審議にて、支部規定については承認されたが、継続審議となっていた支部活動費要綱（案）、支部内規（案）が提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0（会長除く）

第15号議案（決議）福祉機器コンテスト2016事業報告と決算報告について

コンテスト担当の山形理事より、福祉機器コンテスト2016事業報告と決算報告が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 （会長除く）

第 16 号議案（決議）大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）への加入について

副会長の沖川理事より、JRAT は東日本大震災後に情報収集を中心に各団体にて初期対応を始めてからリハビリテーション専門職の災害支援への組織化は、来る大規模災害に備え、急務の課題ととらえ、活動を継続しており、2015 年度に加盟の議案を提出してから継続審議の後、JRAT の活動が医療的であり、発災直後の活動の後、早期に引き上げる印象があるため当協会の活動にそぐわないとの判断から白紙に戻した経緯があるが、その後、厚労省の専門官主導で災害対策活動を行っているそれぞれの団体に声をかけ、情報交換を行った結果、福祉用具に関する支援団体での情報共有や活動支援は必要であり、JRAT の中にもそのような部会を作る方向で話を進めるとの意向を確認したため、再度 JRAT 加盟について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 （会長除く）

第 17 号議案（決議）情報保障の推進について

総務統括担当の水澤理事より、リハ工学カンファレンス、各講習会等において、安定した情報保障が提供しきれていないというのが現状であるが、今では、コミュニケーション支援アプリを導入するなどし、聴覚に障害のある社員へ働きやすい環境を提供している企業や、教育機関、自治体等においても多くの成果を上げていることから、当協会においても、このような事例を参考にしつつ、安定した情報保障の提供を推進させていく必要があると考え、このことを協会の意志として進めていくこと、並びにこれに伴う予算として「情報保障推進準備経費」を計上したいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 （会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2016（平成 28）年度第 4 回（通算第 41 回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14 時 41 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2017 年 3 月 19 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成 28 年度第 4 回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 杉本昌子

議事録署名人 高原光恵